

15周年に向けてさらなる飛躍!

●春日部地区浦高会・総会!

昨7日は春日部地区浦高会の第14回総会でした。午後4時半から会議を開催しました。開会は進行の由木 智幹事(36回)で、最初に三輪昭彦会長(15回)からのご挨拶。

「皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中を平成26年度の春日部地区浦高会総会にご出席いただきありがとうございます。本日は、



ご来賓として同窓会本部から川野会長、鯨井事務局長にお越しいただき、さらに私たちの活動が24ある地域職域同窓会の中でも一番活発だということで湘南浦高会から見学したいということで柳川会長もお越しいただけるとのことで嬉しく思っております。これも若い事務局の皆さんの企画力や運営努力と、何よりも会員の皆さんが各事業に積極的にご参加いただけるというご協力の賜であり、これが本会の特徴だと心から感謝申し上げます。今後とも、皆様方のご支援とご協力をお願いしあげご挨拶とさせていただきます。」



続いて田村友彦副会長(16回)が議長に就かれて議事になりました。

◆平成25年度事業報告(事務局長・香田寛美25回)

昨年9月の総会から始まり、東京リバークルーズ、浦高百年の森への参加、春日部麗しの杜づくり、地域職域同窓会責任者会議への参加、賀詞交歓会、久喜麗和会との合同企画の小旅行「桃の花咲く古河を味わう」、ゴルフコンペ、浦高同窓会総会への参加、幹事会など。

◆平成25年度収支報告(会計・牛久保 聡氏32回)

収入は会費等、支出は総会費・賀詞交歓会費、小旅行補助金、ラグビー部寄付金等で747,785円
春日部麗しの杜づくり事業積立金支出(24本植栽)115,500円

◆監査報告(監事・岩崎 正氏11回)

領収書・帳簿等を照合した結果、適正であった。

◆役員改選(案)(会長・三輪氏)

三輪会長以下は留任し、新たに副会長に香田、事務局長に牛久保氏、会計に竹内 透氏(44回)、幹事に池田博行氏(44回)、林 亮平氏(52回)を選出



◆平成26年度事業計画(案)(香田)

例年行事の外、10月に第1回「チャペルで楽しむクラシック・コンサート」、来年4月に小旅行「浦高百年の森と鉢形城(寄居町!)」(久喜霊和会)との合同企画、6月に第1回「中高生のためのクラシック・コンサート」(春日部地区浦高会・創立15周年記念地域貢献事業)、奨学財団への寄付

◆平成26年度予算(案)(牛久保氏)

収支とも764,000円で各事業を実施

* *

全ての議案が承認されました。続いて、ご来賓の浦高同窓会事務局長・鯨井光夫様(19回)から浦高同窓会の活動状況等についてご報告いただきました。



「皆さん、こんにちは。春日部地区浦高会の皆様には地域職域同窓会を引っ張っていただき心から感謝申し上げます。本日は西部浦高会でも総会が行われており、川野会長は若干遅くなりますので、私だけ先に伺いました。私からは同窓会活動の一端をご報告

いたします。10月に10年目を迎える『百年の森』では13・14日の両日開催される浦高祭の中で展示会を開催します。またラグビー部の花園出場に際してはたくさんの寄付をいただきありがとうございました。県決勝で怪我をした後藤君も順調に回復しており、捕まりながらも歩行ができるところまで回復しているようで、浦高のネットワークの偉大さを感じています。奨学財団については会長から詳しい話があると思いますが、留学奨学金を2名(エジンバラ大とケンブリッジ大)、進学奨学金を1名、ミシガン大学サマーセミナーへ3名の派遣を行うなど活用しました。現在約2,800万円の寄付が集まっていますが、皆様には更なるご協力をお願いいたします。さらに120周年に向けて知的財産の保全を進めてまいります。浦高では今年から5年間、スーパーグローバルハイスクールの指定を受けて、東大との連携ボーイングプログラムによる将来の科学者やエンジニアを育成が進められたり、埼玉県大会で金賞に輝いたグリーン部が9月9日のNHK歌謡コンサートに出場するといったニュースもあります。」

* *

午後5時10分からは恒例の会員スピーチで、今回は**税理士の鈴木 剛さん**(28回)による「税金よもやま話…ためになる話」(内容は次号)でした。



会員スピーチ終了後に、ご来賓の**浦高同窓会会長・川野幸夫様**(13回)からご挨拶をいただきました。

「皆さん、こんにちは。西部浦高会の総会に出席してまいりましたので遅くなり申し訳ございませんでした。さて、**同窓会活動が充実するという**

のは、地域職域の皆さんの活動が大切でありまして、本日も沢山の皆さんにお集まりいただき春日部地区浦高会の総会が盛大に開催されましたことに、お祝いを申しあげます。最近、浦高の存在感が日本の浦高から世界へと高まっており、それに伴い母校を支援する同窓会の存在意義や役割というものも大きく変わりつつあります。そうした中で『**奨学財団**』が昨年11月に公益財団法人となり全国から注目されており、さまざまな高校同窓会が状況を聞きに来られています。私はこの事業の狙いの一つとして余力のある高齢者が若者を支援するサイクルを作ること、もう一つこの事業が全国的な運動に繋がっていくことを期待しています。そうした意味でも、第1号の浦高同窓会が全国の見本になればと思っています。「百年の森づくり」では初期投資が必要でしたが年々経費がかからなくなってきていますが、奨学財団は年々需要が増えていくものですので、皆さんの懐の許す限りの寄付をお願いいたします。私も鳥井さんをはじめとした常任理事の皆さん達の意向で、もう一期会長職を務めることになりました。そこで浦高のプレゼンスの高まりにあった『**同窓会のあり方**』を検討し始めましたので、今後とも皆様のご協力をお願いします。本日はおめでとうございませう。」

* *

ここで、春日部地区浦高会の**田村副会長**と**鳥井副会長**から



川野様に2万円の寄付をさせていただきました。

* *

午後6時からは、やまや新館の隣室に会場を移して37名での懇親会となりました。乾杯のご発声は**長岡成郎氏**(11回)です。



「春日部地区浦高会も14回目の総会を無事に終え、三輪会長と鳥井・田村両副会長や事務局の皆さんのお力で多くの事業が順調に進められており、地域職域の中でも高く評価されているとのこと大変嬉しく思います。

同窓会には多くの会員が参加することが大切であり、我々11回は今日も6人と積極的に出席しており大変誇らしく思います。これからも皆様のご健勝と同窓会の発展を祈念しまして乾杯いたします。乾杯！」(全員で乾杯！)



* *

しばしの歓談のあと、ご来賓の**湘南浦高会会長・柳川義晴様**(10回)からご挨拶をいただきました。



「皆さん、こんばんは。湘南浦高会の会長を務めております10回卒の柳川と申します。私は葉山町の一色に住んでいます。湘南浦高会では4回の早川さんが会長を長く務められていたのですが、今年6月に突然バトンを渡されました。お子さん達が湘南高校に通っている会員も多く、**湘南高校OBとのお付き合いも**しています。会員は60代が多いのですが、60歳を過ぎれば80歳も同じようなものです(笑)。今日は、こちらの活動を楽しく勉強させていただきますのでよろしく願いいたします。」

近況報告は、**大島齋礼さん**(2回)から…。「私は83歳になりました。83歳という背中丸くなった人が多いのですが、私はこの通りです。地元の杉戸中学校で14年前から週5日体操部を教えています。部員が32名いるのですが、女子が多く男子が10数名でなかなか増えないのが悩みです。」



近況報告は、**大島齋礼さん**(2回)から…。

「私は83歳になりました。83歳という背中丸くなった人が多いのですが、私はこの通りです。地元の杉戸中学校で14年前から週5日体操部を教えています。部員が32名いるのですが、女子が多く男子が10数名でなかなか増えないのが悩みです。」



最近思うことは『人生はあみだ籤』ということです。同期生で東大を出て官僚トップまで上り詰めた友人が、転職先が破綻して責任者として訴訟を受けるといことになり、10年以上の闘争の後に無罪を勝ち取ったものの病で亡くなってしまったということがありました。本人は家族に自分の責任と言っていたそうですが、人生何処でどうなるかわからないものだと思います。誰の人生にも順調な時と想定外の時が訪れるものです。避けては通れない事も多々あるので、人生はあみだ籤と皆さんも日々の覚悟を…」

続いて石塚善幸さん(13回)から…。

「東日本大震災の復興支援ボランティアとして20日くらい参加してきました。最近、京都や広島で災害が起こり、ボランティアに行きたいという気持ちがあるのですが、広島は地元の方々が中心になっているのでなかなか行くことができません。もう一つ霊場巡りをしており、現在は児玉三十三霊場を回っています。暑い中を歩くと行者さんたちの気持ちが分かるような気がします。以前に四国八十八箇所を回りましたが、もう一度とも考えています。もし、ご一緒に霊場巡りをしたいという方がいたらお声掛けください。」

続いて新事務局長の牛久保さん(32回)です。



「実は6月の幹事会で突然、三輪会長から新事務局長のお話がありました。その時は『NOはないぞ』という感じでした。平成13年9月の創立時からのメンバーですのでやむを得ないかと思いましたが、お引き受けするのにもう一つの理由がありました。

実は今年乗っていたバイクで事故に遭いました。その数日前に昨年9月10日に亡くなった父の夢を見ました。その父が夢の中で『命があれば人に尽くせ』と言っていたのです。事故では9mも飛ばされたのですが、受け身をして助かり1日だけの入院で職場復帰したので周囲に驚かれましたが、これもラグビーで鍛えたおかげだと思います。今は少し大きなバイクを購入して、秩父などヘツーリングに出かけている52歳です。14年前には私が一番若かったのですが、若い人たちも増えて中堅になってきました。事務局長としてできるだけのことをやって、次回も来たいと思っていただける会にしたいと思いますので、これからよろしくお願いいたします。」



最年少の新任幹事の林 亮平さん(52回)です。「52回、33歳の林です。現在、春日部市役所に勤務しています。香田部長から『30歳になったら春日部地区浦高会に入れ』と言われて入会し、今回、幹事を仰せつかりました。7月22日に3児の父親になりました。精一杯努めますのでよろしくお願いいたします。」



久々に参加された宮田允夫さん(12回)です。



「昨年11月に検査手術を受けて『肺がん』が判明し、以後5ヶ月に亘り抗がん剤や放射線投与などを受けて生還し、7月の診察で『特に異常なし』という判定で今日は参加させていただきました。現在、肺がんの治療後の生存率が65%を超えているそうです。ですから、ここで川野会長にお約束いたします。毎週1000円の積み立てをして年間52,000円、5年後には26万円を財団に寄付したいと思います。(会場から大拍手)。このことはエンディングノートに記します。現代は2人に1人はガンで死亡する時代、昔はこっそりと親族に伝えていたのですが、今は医師が『あなたは肺がんでレベルいくつ』とはっきりと言われます。それだけ生還する期待が高いということです。」

次に新幹事の池田博行さん(44回)です。

「最初に親戚でもある三輪会長から声を掛けていただきました。その後、同期の竹内君から幹事会に呼ばれ、そこで幹事の任命をいただきました。『人生は敷かれたレールを走る』と思っているので受け入れました。これから頑張りたいと思います。仕事は公認会計士と税理士、そして美味しい米作りです。よろしくお願いいたします。」



林さんや池田さんたち若手の皆さんの堂々とした挨拶は素晴らしいですね。続いてはNPO活動をされていらっしゃる石塚勝巳さん(13回)です。



「私からは2~3年前に会員スピーチでお話ししたNPO法人アジア教育友好協会(AEFA)のお話です。私たちの活動はアジアの山岳少数民族の子ども達のために学校を建設し、自分たちの力で自立運営ができるように支援するとともに、日本の学校とのフレンドシップ交流を通じて少数民族の文化や伝統を再発見し、大切に思うことで国際理解を図ろうというものです。」

私もキックマンを退職してから10年間続けておりますが、活動10年を記念して『**輝く瞳とともに——アジアの途上国に学校をつくった人たちの物語**』という本を出版しました。ぜひ、ご購入を。」



ここからは高校時代の思い出話が、梅村仁さん(11回)。



「湘南高校との話が出ましたのでちょっとお話しますが、『**湘南戦**』のきっかけは、生徒会ではなく私が高校時代に所属していた新聞部が行った生徒アンケートがきっかけでした。当時、野球部やサッカー部は強く活躍していたのですが、他の部活も

定期的に他流試合ができる場所ということで、日比谷高校なども回ったのですが、結果として神奈川の湘南高校になり私たちが2学年の昭和32年に第1回が始まりました。また、戦前の宇都宮までの耐久競争があったのですが戦争で途絶えてしまい、それを復活しようと努力して古河までの52kmで、制限時間7時間で歩く『**古河競歩大会**』を復活させました。私たち11回生は学校行事との調製で走れなかったのですが、34年に復活し12回生からは走れることになり、今に引き継がれています。」

ここで副会長の鳥井隆一郎さん(11回)が登場。



「少し補足します。私たちの11回は『**浦高ルネッサンス**』と呼ばれる時代で、文集『礎』の発行、夏の臨海学校も33年夏に始まりました。現在の浦高の伝統となっている行事の多くは私たちの代に復活・新規に行われたものです。」

さらに岡野浩さん(10回)も黙っていられず。

「我々10回生は3年生の時に湘南戦でした。湘南高校から女子生徒が来るという。さらにフォークダンスをするというので背の順で女性役が決まり男子同士で踊ったこともあります。我々が入った頃には既にあった新入生歓迎10キロマラソン(昭和26年～)は、産業道路を走り氷川神社に出て中山道を通って帰ってくるコースでした。」

ここで大御所・黒後明さん(3回)の登場です。「みんな浦高は男子校で女子がないという話をしているが、**女子生徒が70数名いた時代**があるんだよ。みんな知らないだろうなあ。(全員がヘエ～!)」今は『尚文昌武(しょうぶんしょうぶ)』を掲げているけれども、俺たちの時代は『**至誠一貫(しせいいつかん)**』だったな。昭和23年4月に新学制になって浦和高校になって6-3-3制になった訳だが、新制中学の校舎が建てられないというので、木崎中学校に3教室を貸したんだ。そこで女子生徒が居た訳だ。俺は高校時代から数えると60数年1日60本近い煙草を吸ってきたんだが、どこも悪くない。ただ、最近は1日20本に減らしたので、いすれ残った金は川野さんに寄付しようと思っている。」



いや～、諸先輩の記憶力は素晴らしいものです。

続いて私・香田(25回)から・・・

「9年間事務局長を務めさせていただき、いろいろと勉強させていただきました。特にミスター浦高同窓会の鳥井先輩からは、多くのことを学ばせていただき常任理事になることもできました。ここで皆さんに一つお願いがあります。それは**会報『喫茶去』の編集**は副会長になっても続けさせてください。よろしく願いいたします。」(全員の承認をいただく)



懇親会の司会を務めた新会計の竹内透さん(44回)。

「諸先輩が築いて来られた春日部地区浦高会は**明るくて居心地の良い会**です。これから会計として頑張ります。44回、社労士をやっています。」



元応援団長の岩本利夫さん(22回)の指揮で校歌



斉唱・エール、そして記念撮影で締めました。